



おてらおやつクラブ in 東本願寺

2025年11月21日（金）～12月15日（月）まで

真宗本廟報恩講がはじまる11月21日から12月15日まで、おてらおやつクラブ in 東本願寺を開設します。

皆さまからの「おそなえ」をお預かりし、真宗本廟（東本願寺）内ご本尊に「おそなえ」いたします。経済的に困難な状況にあるご家庭や、支援を必要としている子どもたちにお届けし、貧困問題への支援を行います。

皆さまのご協力をお願いいたします。



対象物



受付



お米、お菓子、乾麺、レトルト食品、
飲み物、缶詰、調味料等の食品類、
洗剤等の生活用品

お米の場合

- ・玄米…2年以内に収穫されたもの
- ・白米…精米してから夏を越さずに1年以内
※精米日・時期の記入をお願いいたします。
- ・混合（複数の精米日が混入）…半年以内

※食品類は、賞味期限が2026年1月20日以降
のものをお願いします。

※対象外 お酒類、生鮮食品、衣料品

○しんらん交流館1階ロビー

11月21日から12月15日まで
※12月2・9日は休館

○子ども参拝案内所（東本願寺境内テント）

11月23・24日の9時から16時まで
11月28日の9時から12時まで

※郵送でも受け付けております。

送り先は「青少幼年センター おてらおやつクラブ」まで。住所は下部に記載。

主催：青少幼年センター

【お問い合わせ】平日9時から17時まで（12月1日を除く）

TEL 075-354-3440

E-mail oyc@higashihonganji.or.jp

〒600-8164

京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地
しんらん交流館内 青少幼年センター
火曜休館（11月25日は開館しています）

日本の子どもの貧困問題

現代の日本における深刻な社会問題の一つに「子どもの貧困」があります。テレビや新聞などメディアでも盛んに貧困問題が提起され「日本の子どもの9人に1人が貧困状態にある」と伝えられています。日本の子どもの貧困は、食生活も服装も普通に見える「相対的貧困」と言われるもので、いわゆる発展途上国などで見られるような生存に関わる「絶対的貧困」に対して周囲に気づかれにくく、見えづらいのが難点です。

一見不自由なく暮らしているように見えても、実は家計に余裕がなく、ギリギリの生活を強いられ、部活動や学習塾、修学旅行や娯楽など「友だちが当たり前に行っていることが自分にはできない」という絶望感を抱いていることが少なくありません。

この絶望感は大人が想像する以上に深く、子どもの健全な成長において非常に大切な「自己肯定感」を損ねてしまう危険性があります。

「おてらおやつクラブHP」より抜粋

おてらおやつクラブって？

「認定 NPO 法人おてらおやつクラブ」は、全国のお寺と支援団体、そして檀信徒および地域住民が協力し、慈悲の実践活動を通じて貧困問題の解決を目指す活動です。

お寺にお供えされるさまざまな「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」としてお菓子や食品、日用品をお届けしています。

おてらおやつクラブについての
詳しい情報は HP をご覧ください。

おてらおやつクラブ

検索



支援を受けた方の声

1月1日能登地震の被害に遭いました。自宅の壁や給湯器も壊れてしまい絶望してしまいました。その時におてらおやつクラブさんからの LINE を見て思わず助けを求めてしまいました。食べ物だけでなく日用品やお手紙まで頂戴し、本当にうれしかったです。忘れかけていた人の優しさやありがたみを感じて、今は必死に前を向こうと頑張っています。

箱を開けた瞬間気のせいかもしれませんが、何となくお線香の香りがしたような気がして、心にジーンときました。嬉しい、ありがたい気持ちでいっぱいです。仏さまが先に召し上がられたのだなと思うと、こんな私たちにまで恵んでくださったのだと感謝感謝です。大切に娘と頂きます。

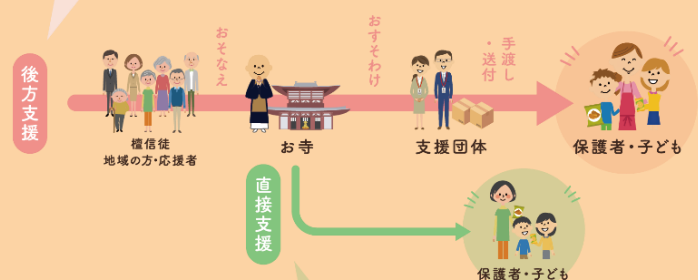
段ボールを開いたらすぐに頂ける菓子類が多く、夏に嬉しいカルピス、ゼリーなどもあり、子どもが「嬉しいね、有難いね」と目を輝かせていました。私も「本当にその通りだね」と答えました。お供えしてくださる方々、お寺さんのどちらにも本当に感謝でいっぱいです。

おてらおやつクラブ「声」2024 年度版より抜粋

おてらおやつクラブの仕組み

後方支援

各お寺で預かった「おそなえ」は、それぞれのお寺のペースと量でできるだけ近い支援団体へと「おすそわけ」され、各団体の活動を通じて困りごとを抱える子どもたちの元へ。



直接支援

活動の周知に伴って支援要請の数が増えたことにより、上記の後方支援だけでは支えきれないケースも増加。そこで、匿名配送の仕組みを新たに作り、全国のお寺からひとり親家庭へと直接「おすそわけ」を届ける支援形態を構築した。